

十和田八幡平国立公園  
犬倉山周辺の自然散策マップ



展望リフト周辺から犬倉山一帯ではこんな花が見られます。

6月	7月	8月	9月	10月
・ヒメイチゲ	・ハクサンチドリ	・クルマユリ	・エゾオヤマリンドウ	・ミネカエデ
・ミツバオウレン	・ヨツバシオガマ	・オオノアザミ	・ウメバチソウ	・ミネザクラ
・イワナシ	・アカモノ	・シラネニンジン	・ヤマハハコ	・ナナカマド
・イワカガミ	・ニッコウキスゲ	・ツルリンドウ	・ミヤマアキノキ	・ダケカンバ
・ミヤマキンバイ	・ハクサンボウフウ	・ヨツバヒヨドリ	・リンソウ	などの紅葉

散策のちょっとした見どころ紹介

展望リフト 6月下旬～10月中旬運行・所要時間40分

リフト3基を乗り継いで一気に標高1300mの高さまで上がります。ミズナラからブナそしてダケカンバ、オオシラビソ(アオモリトドマツ)と標高が上がるにつれて山地帯から亜高山帯へと植生が変化していきます。様々な野鳥の“さえずり”が身近に聞こえ、眼下にのどかな雫石盆地の田園風景が広がります。

犬倉山火口展望台 第三リフト終点から徒歩10分。

ハイマツとチシマザサの急斜面の底に古い火口があって、網張温泉元湯の噴気が音を立てて吹き上がっているのが見えます。昔は硫黄の採掘も行われたそうです。

犬倉山山頂 火口展望台から見通しの良い稜線沿いに徒歩25分。

晴れた日は国立公園の核心部、岩手山から秋田駒ヶ岳、八幡平まで続く裏岩手の山並みが見渡せます。火山の博物館さながらといった景観です。

この一帯は国立公園の特別地域で豊かな自然が保護されています。

十和田八幡平国立公園

# 網張の森 セルフガイド

ようこそ！ 網張の森へ

網張の森は岩手山南麓、標高760mに位置し  
ミズナラ・ダケカンバ・ブナを主体とした自然  
豊かな落葉広葉樹林です。  
森には、シンボルマークのモモンガを始め多くの  
生きもの達が生息しています。



## セルフガイドの使い方

このセルフガイドは、網張の森を訪れた誰もが、森の不思議や森と人とのかかわりを知ることのできるガイドブックです。ガイドブックのコースに沿って歩くと、ガイドポイントを示す番号標識があります。立ち止まって、ガイドブックの該当する番号の案内文を読んで見ましょう。案内文は、風景を見て、それを読み解いていく内容になっています。

ガイドコースは歩きやすい約2kmの周回コースで、1時間ほどかかります。網張の自然にふれ、風景を読み解く楽しさを知ってください。

発行 網張ビジターセンター運営協議会  
岩手県岩手郡雫石町長山小松倉1-2 TEL 019-693-3777

## 1 細い木のヒミツ

森の入口です。見渡すと細い木がたくさんあります。それはどうしてでしょう?少し前まで家庭の燃料として薪や炭が利用されていました。この森の木も燃料として使い切り出されていたために、これから成長する細い木がたくさんあるというわけです。この付近では7月のわずかな期間に森林棲のヒメボタルを見ることができます。

## 2 植物はどんなところに育つの?

森の中に入ってきたました。日差しの強い日でも、森の中は背の高い木で太陽の光は遮られ、わずかな光が差し込む程度です。ここでは大きな葉っぱのホオノキなど水分を多く含む土壌で育つ木が見られます。木や葉っぱを見ることで、そこの地形・地質・気候など植物を取り巻く環境を想像することができます。

## 3 標高で異なる森の木々

この森は秋になるとドングリの実をつけたミズナラを中心として、波打つような葉っぱが特徴的なブナが混じっていますが、もう少し標高が上がると“ブナの森”、さらに上ると雪の重みに耐えられる“ダケカンバ”、爽やかな香りが特徴の“オオシラビソ”などの森へと変化していきます。

## 4 森は何階建て?

森の中をじっくり見てみましょう。生えてる植物の高さはみんな同じ位ですか? 太陽の光を遮る高い木、それよりも少し低い木、人の背丈ほどの木、足元にも草やコケが見られます。マンションやビルに例えるとこの森は4階建てのようです。太陽の光を得るために、植物はそれぞれの階で工夫を凝らしています。



## 5 耳をすませてみよう

スキーゲレンデに入ってきたました。周辺は積雪期にしか登ることのできない鎌倉森や網張温泉の元湯を見下ろせる犬倉山などの山岳景観が楽しめます。

見晴らしのよいこの草原では、初夏にはカッコウなどのどかな鳴き声が聞かれ、セミの大合唱が終わる頃にはコオロギなどの心地よい鳴き声が聞こえています。

## 6 在来植物と外来植物

このスキー場は開発される時に自然の地形を活かして地形の改変をほとんど行わなかったため、昔からあるマイヅルソウやヨツバヒヨドリなどの在来植物が数多く見られます。車や人の出入り、外からの土砂に混じるなどして、人々ここにはなかつたセイヨウタンポポやオオハンゴンソウなど繁殖力の強い外来植物も見られ、在来植物をヒヤヒヤさせています。

## 7 吊り橋散歩の魅力

この吊り橋の下を流れる湯ノ沢は、硫黄分を含む温泉が流れ込み酸性が強いため、魚類は棲めず飲用もできません。流れる水の音を聞きながら五感を研ぎ澄ませてみましょう。遅い春を迎える頃、日本で一番大きな花を咲かせるホオノキのはのかな甘い香り。橋のあちこちに“かくれんぼ”している虫たちの音。秋にはハウチワカエデの紅葉、トチノキの黄葉など彩り豊かな景色が広がります。

## 8 むかしの名残

網張薬師社は網張温泉の歴史を伝え続けています。江戸時代の山の神信仰によって入浴が禁止され、周囲に網が張られたところから“網張温泉”と呼ばれるようになったとされます。明治初期になると、ここから約2km先の元湯から引湯し温泉宿を開きました。この平坦な広場にはかつての温泉地としての名残が見られます。

# 十和田八幡平国立公園

## 網張の森マップ

